

令和2年度 三友堂病院の医師および看護職の負担軽減計画

令和2年3月末現在の医師の勤務状況

- ・医師数 常勤20名 非常勤7.8名
- ・常勤医師平均勤務時間 平均週44.1時間(うち残業4.94時間)
- ・月当たり当直回数 平均1.8回 1年を通して当直を行っている医師の平均回数2.7回
- ・短時間正職員制度利用医師2名(週32時間2名)
- ・出産、育児休暇利用医師0名

目標

当法人では、ワークライフバランスを重視する観点から、全ての職員が短時間正職員制度を利用することが可能な体制をとっている。また、医師の事務作業の負担を軽減することを目的にメディカルクラークを配置、さらに医師業務の補助として看護師、コメディカルを含め多職種による協力体制の下、業務分担を進めている。今後も未だ十分とは言えない医師業務負担の軽減について諸施策を立案、実行し最終的には医師が求めるレベルに到達することを目標とする。

項目	これまでの取り組み	令和2年度の目標	令和3年度の目標	目標達成の評価指標	達成項目の確認	
					令和2年3月現在	令和3年3月現在
看護業務	看護職員と看護補助者の業務分担の推進を図り、看護職員が行う書類・伝票の整理及び作成の代行、診療録の準備等の業務を移行している	1)放射線技師によるCT・MRI検査後の抜針継続。 2)薬剤業務(持参薬管理業務)を削減し、日勤業務の薬剤に関する時間を減らす。 3)自己血貯血について中央検査室より患者へ説明を行う。		1)技師による検査抜針件数 2)薬剤業務に関する時間外労働削減 3)自己血貯血説明件数	1)技師による抜針 59件 2)薬剤関連期間外 - 3)自己血貯血説明 0件	1)技師による抜針 件 2)薬剤関連期間外 時間 3)自己血貯血説明 件
医師事務作業	診断書、入院総括、がん登録、主治医意見書等主に文書作成支援の取り組みを行っている他、ペシュライバー(代行入力者)を育成している	1)他病院より依頼のあった診療情報提供書(紹介状)作成依頼書の返書作成を行い医師を支援する 2)新入院患者の持参薬情報を電子カルテに登録する		1)毎月5件以上作成 2) 件以上	1)ほぼ実績なし 2)実績なし	1)月平均 件 2) 件
栄養管理	入退院支援として栄養状態に問題ありの患者に外来通院時からの栄養介入を実施している	経管栄養管理患者に対して適切な栄養剤の選択と評価を行う。また、胃瘻造設パスの作成を検討し、指示入力を代行入力者と連携を図る。		1)経管栄養管理患者の栄養評価件数 2)胃瘻造設パス稼働件数 3)経管栄養管理患者の転院先又は退院施設へサマリー作成件数	1)実績なし 2)実績なし 3)実績なし	1)経管栄養評価 件 2)胃瘻造設パス 件 3)サマリー作成 件
救急医療を担う医師の待遇	当直業務を担う常勤医師に緊急患者の受診に応じた宿直料加算を創設、また当直手当の見直しを複数回行ってきた	当直の管理(当直表の作成と変更作業)を事務部で行い、連続当直や手術日前日の当直とならないよう配慮する	当直の管理(当直表の作成と変更作業)を事務部で行い、連続当直や手術日前日の当直とならないよう配慮する	連続当直回数3回以下/年間	11回/年間	回/年間
医師の労働時間	短時間正職員制度を導入し、労働時間の短縮や制限(夜勤免除や残業免除)等の取り組みを行っている	医師毎の勤務状況を把握し、医師の休暇管理を行いながら年次有給休暇6日以上を取得を実現する	医師毎の勤務状況を把握し、医師の休暇管理を行いながら年次有給休暇7日以上を取得を実現する	常勤医師の年次有給休暇取得日数	医師一人平均 6.2日	医師一人平均 日